

## 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	喜茂別町	事業開始年度	目標年度	事業実施期間(令和元年度)
2. 取組振興山村名	喜茂別町	令和元年度	令和3年度	令和元年6月20日～令和2年3月31日
3. 事業費(うち国費)	9,558,320円(9,558,320円)			
4. 第三者氏名	河本 章良			
5. 事業評価				
総合評価				
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント) 令和元年度の取組みは概ね評価できるが、販売を担っていく新たな組織の立ち上げについては、次年度以降の課題として整理し、課題解決に向けて重点的に取り組んで頂きたい。 ①から③の実施結果を踏まえて、A評価とする。		
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C) 重点指導対象	
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント) アンケートでは、既存商品・新商品(試作)の味に対する評価は高いことから、地域産品の需要の喚起につながる取組みとして評価できる。今後は少ないマンパワーをどのように活用していくかを明確にし、販売方法や販売ルートを確立し、販売実績を上げることが地域所得の増加につながると考える。また、新たな組織の立ち上げについては、早急に対応されたい。		
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C) 重点指導対象	
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント) 初年度の目標である町内経済団体が一体となった推進体制の土台づくりや地域資源(じゃがいも等)を活用した新たな商品(じゃがいも・かぼちゃスープ)開発は達成できている。次年度は開発した商品のブラッシュアップ、販路開拓に取り組む、販売実績を積み上げていくことで、販売額の増加が達成できるよう期待する。		
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C) 重点指導対象	
③ 実施体制				
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント) 事業当初から町内の経済団体が構成メンバーに加わったことや町外のコンサルタントのサポートを受けるなど、既存商品のブラッシュアップや新商品開発がスムーズに行われた。本事業以外にも、個別に商品開発に取り組む事業者が現れるなど、地域内で「商品開発に取り組みたい」という機運が高まっていることは歓迎すべきことである。引き続き、特産品を活用した外部からの収入を得る手段に対する知見を取り入れて、事業完了後を見据えた事業展開を期待する。		
評価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)	
④ その他				

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。